

コロナ禍の学校

校長 桑原 啓成

「運動会は中止や延期なのに、どうしてオリンピックは開催できるの？」子どもの素朴な疑問です。この問いに、根拠をもって説明することができる大人がどれだけいるでしょう。無理を通せば矛盾が生じます。コロナ禍の生活は、この矛盾との戦いであるから、精神的に疲弊してしまうのかもしれない。

教え子が、タイで生活をしています。時々、近況を伝えてくれるのですが、メッセージと一緒に添付されている写真を見て、本当の幸せって何だろうと考えさせられます。首都バンコクの繁栄の裏には、多くの国民の犠牲と貧困があります。発展途上国だから仕方がないのでしょうか。先進国であるはずの今の日本の姿と同じに見えてしまいます。

一向に収束の兆しを見ることができない新型コロナウイルスですが、世界中のリーダーが同時に同じ危機に取り組んでいるという前代未聞の状況は、エイリアンに襲撃された宇宙戦争のようです。彼らが、同じ危機に対して、どんな対処をするのか、どんな言葉を語るのか。うまくいく国とそうでない国があるのはなぜなのかをよく見ておくことが大切です。リーダーを選ぶということは、危機の際に自分の命を預ける相手を選ぶことに匹敵します。働いてお金を手に入れ、多くのものを所有し、他人と差をつけることが安心といわれていた時代は、格差を広げ、危機の際に多くの人々が脆弱な立場に追いやられる社会を生み出してしまいました。タイや日本に限らず、多くの国が同様の状況にあります。人は絶対に一人では生きていけず、いやでも他人との暮らしと地続きです。今回のコロナ危機でよく分かりました。いくら自分のところだけ消毒しても、社会からウイルスが消えない限り安全ではありません。世界はつながっており、人と自然も切り離せません。生きる喜びとは何か、豊かさとは何か、優しさとは何か、大切な人は誰か…。大人が自問していることを、ぜひ子どもたちにも考えさせたいと思います。

来年4月から高校で使われる教科書の検定が終了し新たな必修科目「情報1」や「公共」などの教科書の内容が明らかになりました。プログラミングや主権者教育に加え、生徒が主体的に考え対話を通じて学びを深める内容が特徴となっています（先行して実施されている小中学校の学習指導要領でも重視されています）。今回の検定では、来年春から導入される新しい高校の学習指導要領での大幅な科目再編に伴い、40年続いた「現代社会」の廃止に伴い公民の必修科目となった「公共」は主権者教育に加え、生徒自ら実際に社会にある課題の解決を考えられるよう多様なテーマが扱われています。地理歴史では日本と世界の近現代史を中心に学ぶため再編された「歴史総合」のほか「地理総合」も必修科目になり初めての検定が行われました。特に、歴史総合の、ある教科書では、民主主義を考える特集の中でアイドルグループ櫻坂46に名前を変える前の櫻坂46の写真とヒット曲「サイレントマジョリティー」の歌詞の一部が掲載されています。この曲の歌詞は「声をあげないことは賛成しているのと同じ」であること、意思表示せず大衆でいることへの疑問を投げかけるメッセージであると紹介されています。

学校は、子どもたちが、アフターコロナの時代をたくましく生きていくために、しっかり自分の考えをもって主張できる力と、自分ならどうするかという想像力を身に付けさせなければなりません。

学校運営協議会

富良野市教育委員会が制定する規則に基づいて指定され、「学校運営協議会」を設置した学校を「コミュニティ・スクール」と呼びます。「学校運営協議会」では、校長が示す学校運営方針を承認したり、地域の皆様の意見を学校運営に反映させたりすることができま。す。「学校運営協議会」は、学校の最大の応援団であり、学校にとってのパートナーです。委員の皆様には、「時には厳しく」そして「優しく」「目標を共有する」存在であることが求められます。



【第1回会議の様子】

現在、社会が多様化し、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化する中で、学校・家庭・地域が連携して、学校教育の充実や地域の教育力の向上がますます求められています。

つまり、「学校運営協議会」の役割は、「自分達の学校」であるといった当事者意識をもち、自分達に何ができるのかを考え、一緒になって学校づくりに参画することです。委員の皆様には、教育、学校や子どもたちの様子について関心をもっていただきながら、教育活動や学校の運営全般について積極的に意見を述べる事が求められます。更に、扇山小学校の教育活動について、評価（学校関係者評価）することも求められます。

このように、「学校運営協議会」は、子どもや学校のことをよく考え、じっくり話し合いをする会であり、地域でどんな子どもを育てていくのかといった目標を共有したり、よりよい学校づくりに向けて進むべき方向を明確にしたりする会なのです。

11日（火）に今年度の第1回「学校運営協議会」が行われました。委員の皆様へ委嘱状を交付した後、主に今年度の学校運営方針、コミュニティ・スクールの背景・役割・計画と今後の協議内容等について話し合いました。

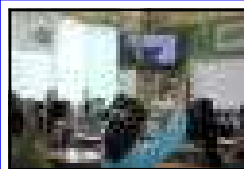
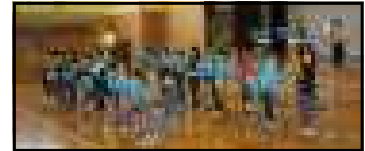
扇山小学校をよりよい学校にするため、教職員・保護者の皆様と連携しながら活動して下さる委員の皆様を紹介いたします。（敬称を省略いたします）

- | | | |
|-----|-------|--------------------|
| 会長 | 村田 知也 | （有識者） |
| 副会長 | 中村 亮太 | （PTA会長） |
| 委員 | 奥平 正仁 | （同窓会会長） |
| | 高田 健一 | （同窓会副会長） |
| | 関澤 博行 | （同窓会副会長） |
| | 高谷 美枝 | （PTA副会長） |
| | 奥平 竜也 | （PTA副会長） |
| | 菊田 和雄 | （有識者） |
| | 千葉 慎士 | （おやじの会理事） |
| | 岡野 恭輔 | （扇山子どもネットワーク会議副会長） |
| | 柏倉 正勝 | （有識者） |
| | 桑原 啓成 | （校長） |
| | 民輪 伸幸 | （教頭） |
| | 小瀬 知里 | （教務主任） |

スクールバンドの練習がんばっています

残念ながら運動会は延期、音楽大行進は中止となりましたが、6年生は熱心に練習しています。今、練習しているのは、「扇山マーチ」と「千本桜」です。3月の卒業式での演奏もすばらしかったのですが、2学期に予定されている運動会でも、大いに盛り上げてくれると思います。

コロナ禍の練習で大変なこともあると思いますが、自分の素敵な音づくりを目指して自分を磨いてほしいです。



1年生を迎える会

28日（金）に行われました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で、全校が一室に集まらず、各教室でビデオ放送で行いました。各学年からは入学を祝うメッセージなどが贈られました。

1年生にとっては、とても楽しい時間を過ごすことができたようです。1年生も学校生活に慣れてきました。これから、どんな成長を見せてくれるかが楽しみです。

6月行事予定



- 1日（火）全校集会（月）
- 2日（水）ALT（5・6年）
- 7日（月）ALT（3～6年）、諸費再引落日
- 8日（火）午前授業
- 9日（水）ALT（5・6年）
- 10日（木）社会見学（4年）
- 11日（金）委員会③
- 14日（月）ALT（1・3・5・6年）
- 15日（火）森林学習プログラム（3年）
- 16日（水）ALT（4～6年）
- 17日（木）森林学習プログラム予備日（3年）

- 18日（金）クラブ②
- 森林学習プログラム事後学習（3年）
- 21日（月）参観日（5年）、ALT（3～6年）
- 22日（火）参観日（6年）、水泳学習（3年）
- 23日（水）参観日（4年）、ALT（3～6年）
- 24日（木）参観日（3年）、水泳学習（5年）
- 25日（金）参観日（2年）、水泳学習（1年）
- 28日（月）参観日（1年）、諸費引落日
- ALT（3～6年）
- 29日（火）水泳学習（2・3年）
- 30日（水）ALT（3～6年）

※各行事等は、中止・延期になる場合があります。